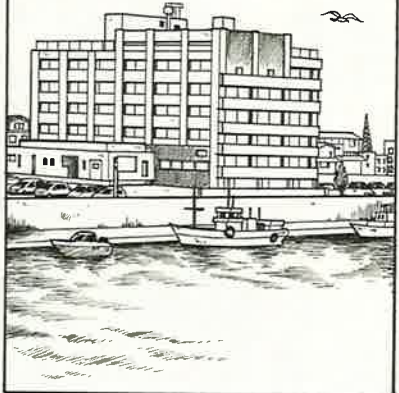


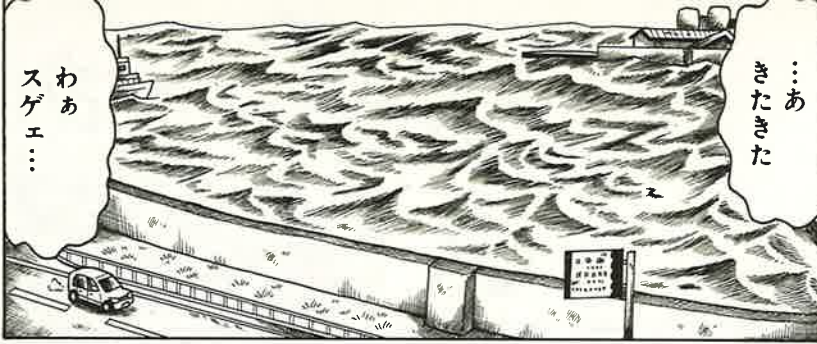
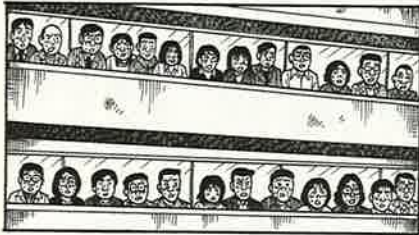
その頃  
宮古市役所



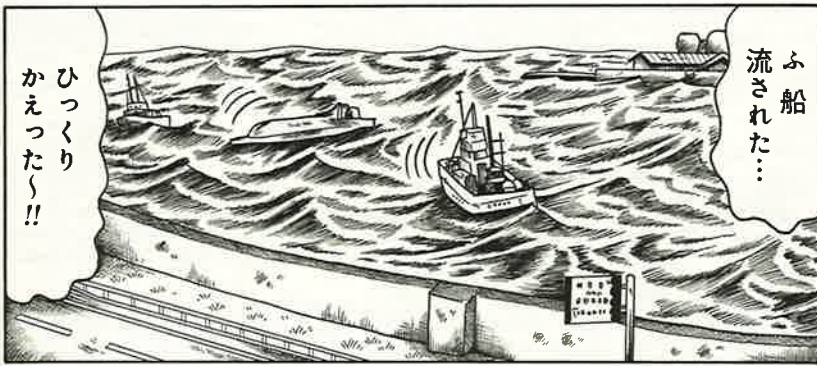
協力：宮古市役所



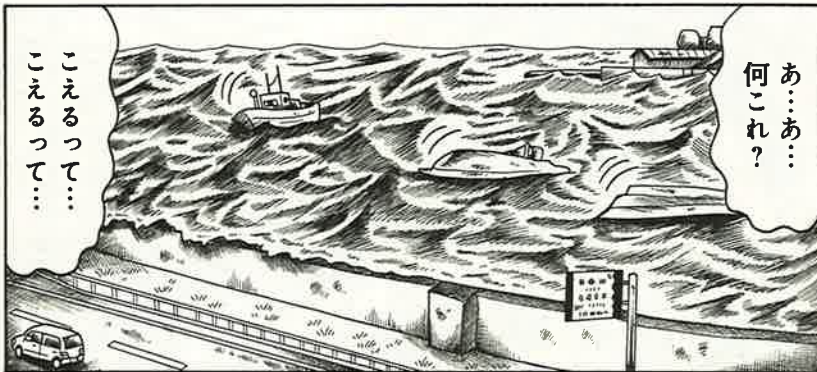
早く早く  
津波くるぞ!!  
そんな  
しとらんでええ!!



…あ  
きたきた  
わあ  
スゲエ…



ふ船  
流された…  
ひつくり  
かえったく!!



あ…あ…  
何これ?  
こえるって…  
こえるって…



あっ底が見えた  
底が見えた…



茶色の服の父さ〜ん!!  
津波がくるぞ〜!!



ダメだその  
自転車!!  
流されっ  
ぞ〜!!



そっちじやねえ!!  
こっちこっち!!  
早く上がれ〜!!







オレの車  
終わったあ

ああ~~~~  
うわあ~~~~

どうせえ  
……  
いうねん



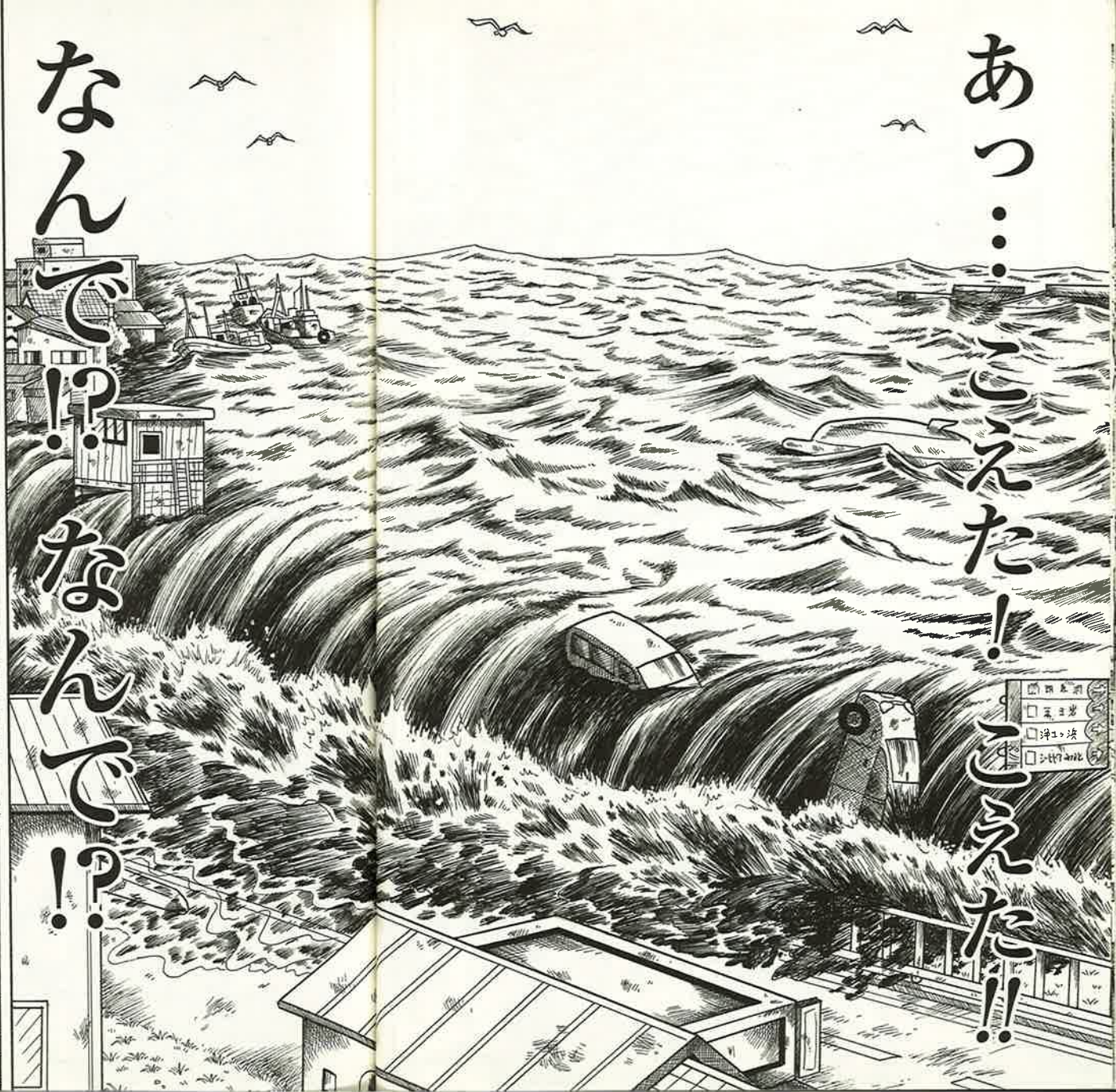
何これ？  
何これ？

終わった……  
すべてが  
終わったあ……



え？何これ？  
何なんだよ？

さっきの人は？  
どこ行ったの？



なんで!?  
なんで!?

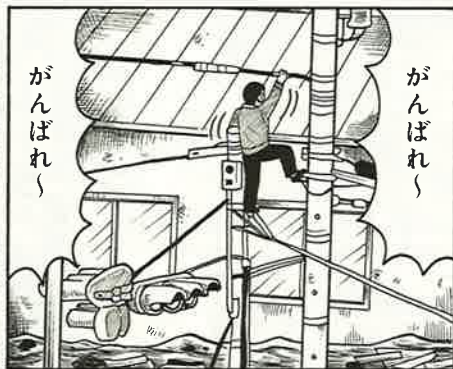
あつ……  
こえた!  
こえた!!

四角田  
五田  
洋工・決  
シタノ





2011年3月11日(金)14時46分  
三陸沖を震源とする「マグニチュード9.0」の超巨大地震が  
東日本全域を襲った  
このときの津波は宮古市で平均9.3m  
(同姉吉地区では国内最大の40.5m遡上)という記録的なものだった…





戦争は……  
子供だけ助けてもらった

「この家だけ」  
「焼かれずに済んだ」など……



1%でも情は  
あるんです……

どんなひどいことでも  
人間のやることは



山のふもとの  
廃校になった  
学校の体育館が

遺体安置所  
でした



「だけど震災は」  
「1%の情もない」



「100%の破壊」  
「雑草まで根こそぎ  
やられるんです」



……なるほど



……それで取材で釜石の  
遺体安置所に行き  
そこのことを本に  
したいと思ったのです



だから  
釜石に……

全く人手が  
足らなくて……



パタ  
パタ

元葬儀社勤務で  
民生委員の  
千葉さんという方が



ボランティアで  
毎日中心となって  
働いていました



